*This draft is partially uploaded, please upload after
h3:価格差を利用して利益を確定させる投資手法のこと

https://forex.com/jp/tradercenter/wp-admin/post.php?post=14524&action=edit

Image file
https://drive.google.com/drive/folders/1G36UhXwkYweoIiZpfzhEAL6BWaP5Q-wQ

■記事のタイトル

初心者必見！CFD取引の仕組みとおすすめ銘柄＆投資方法を解説

■本文の構成案

h2:CFD取引がおすすめな人チェックリスト
h2:そもそもCFD取引（差金決済取引）とは？
- h3:価格差を利用して利益を確定させる投資手法のこと
- h3:レバレッジを理解しやすくなるポイントとおすすめの理由

h2:CFD取引の簡単な仕組み
- h3:①投資対象を選ぶ
- h3:②「買い（ロング）」か「売り（ショート）」ポジションをとる
- h3:③価格変動を見る
- h3:④ポジションを閉じて「決済」をする
- h3:10,000円を投資した場合のわかりやすい例

h2:CFD取引がおすすめされるようになった背景5つ
- h3:①金融市場でもグローバル化が進んだ
- h3:②日本は長い間低金利が続いている
- h3:③CFD取引に関する法整備が整いつつある
- h3:④スマホでも使える取引ツールが増えた
- h3:⑤世界の政治情勢が不安定になって市場の変動が大きくなった

h2:CFD取引でおすすめの投資銘柄
- h3:外国為替（FX）
  - h4:人気の通貨ペアと特徴
- h3:株価指数（インデックス）
  - h4:人気指数と特徴

h2:CFD取引で失敗したくない！おすすめの投資方法5つ
- h3:①使いやすい証券会社を選ぶ
- h3:②本で知識を深める
- h3:③自動売買ツールを利用する
- h3:④さまざまなチャートを読み取れるようになる

h3:⑤スプレッド、約定力の比較をする

h2:【まとめ】レバレッジを効かせたい人にCFD取引はおすすめ！

■書き出し（導入文）

CFD取引（差金決済取引）は、レバレッジを活用した資金効率のよさが魅力なので、少額から投資を始めたい初心者にもおすすめです。

海外市場や株価指数、外国為替（FX）など多様な投資対象が選べるため、チャート分析や自動売買ツールを駆使して自分に合った戦略を立てることも可能です。

CFD取引を正しく理解して、投資戦略を多角化してみましょう。

■本文

h2:CFD取引がおすすめな人チェックリスト

◆CFD取引がおすすめな人チェックリスト◆

1. 少額から投資をしたい人
2. レバレッジを効かして短期間で利益を狙いたい人
3. こまめに投資情報を収集できる人
4. 分散投資でリスクを抑えたい人
5. 取引時間を制限されたくない人
6. 投資に興味があって学習意欲が高い人

2024年1月度より新NISA（少額投資非課税制度）が導入されたことで、投資に興味を持ち始める人が急激に増加しました。

「投資」と聞くと、株式投資や投資信託、不動産投資などに注目が集まりがちですが、近年では「**CFD**取引」に挑戦してみたいという方も多いのではないでしょうか。

とはいえ、CFD取引というと「なんだか難しそう」、「危ないからやめとけ」という声も少なくありません。

しかし、CFD取引はしっかりと理解すればリスクヘッジにもなる投資法です。まずはこのチェックリストで自身がCFD取引に向いているかどうかチェックするところから始めてみましょう。

h2:そもそもCFD取引（差金決済取引）とは？

CFD取引は差金決済取引のことを意味しており、Contract for Differenceの略称です。

差金決済取引とは、現物の受け渡しを行わずに、反対売買によって発生した差損益のみで決済する取引のことを指します。CFD取引では、世界中の株価指数にレバレッジをかけて取引することができます。為替を取引するFXも、CFDの一種となります。

日本証券業協会が公表しているデータによると、**CFD**取引の口座数は**2010**年代では約**11**万弱だったものが、**2023**年には約**81**万口座まで増加しています。
店頭**CFD**取引状況（一覧）より
つまり、近年急激にCFD取引を始める人が多くなったということです。ではそもそも、CFD取引（差金決済取引）とはどのような投資なのでしょうか？ここではまず、CFD取引について初心者にもわかりやすく解説します。

h3：CFD取引で世界中の株価指数、為替に取引も可能

CFD取引では、株価指数や株式、為替からコモディティまで、世界中の資産にレバレッジをかけて取引することができます。

FOREX.comのCFD取引では、株価指数ひとつとっても、米国や日本、中国はもちろん、欧州やアジアの主要国の株価指数を取引することができます。

CFDで取引する価格は、原資産とほとんど同じ値動きとなり、ほぼ24時間取引を行うことができます。CFDはアクティブにトレードしたい投資家向けの金融商品といえます。

h3:価格差を利用して利益を確定させる投資手法のこと

CFD取引は、実際に投資商品を所有するのではなく、その商品の価格変動によって利益を得ることを主な目的にしています。
つまり最大の特徴は、実際に株式や通貨、コモディティなどを保有せずに、その価格の上昇局面はもちろん、下落局面でも利益を狙うことができる点にあります。

例えば、株価が上がると予測すれば「買い（ロング）」のポジションを、逆に下がると予測すれば「売り（ショート）」のポジションを取ります。

このように、**CFD**では価格が下落した場合にも利益を狙うことができるため、上昇相場でも下降相場でも収益機会があります。

一般的な投資は、投資商品自体（現物）を所有し、その商品の価値が増すことで利益を得るのが通常の手法です。

一方、CFD取引では投資商品そのものを所有するわけではないため、保有コストや商品の所有に関わる複雑な手続きが不要になります。

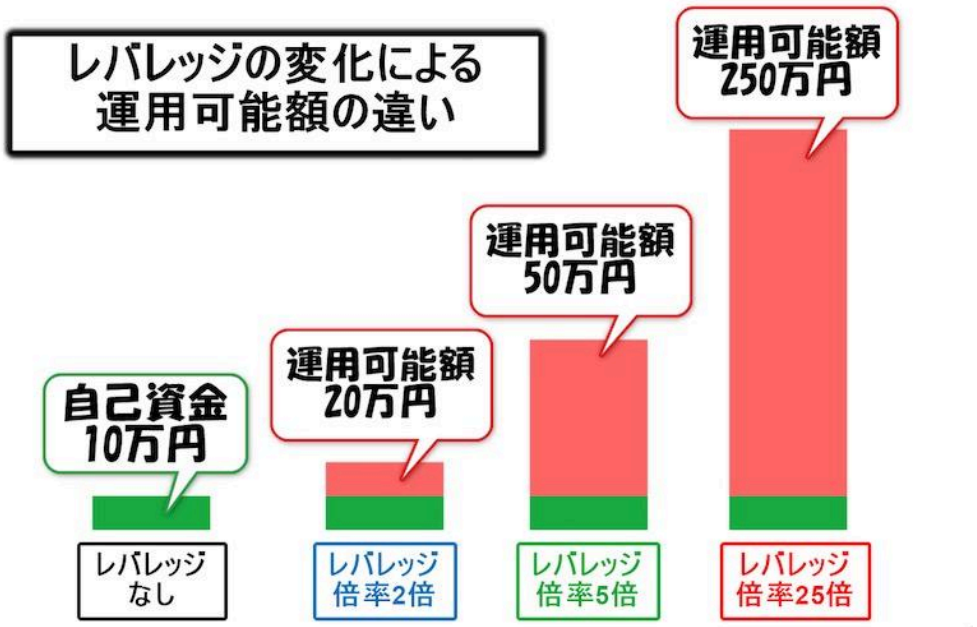
また、下降相場でも利益を狙えるため、相場の状況に応じて柔軟に投資戦略を変えることができる点が、一般的な投資手法とは大きく異なるポイントです。

h3:レバレッジを理解しやすくなるポイントとおすすめの理由

CFD取引（差金決済取引）では、少ない資金で大きな取引を行うことができる「レバレッジ」を効かせやすいのも特徴の一つです。

レバレッジ（leverage）とは、自己資金（証拠金）以上の額で取引を行う仕組みのことを指します。

※内部リンクです※　資金の何倍もの取引ができるのはなぜ？レバレッジの仕組み



例えば、**FOREX.com**の株価指数**CFD**取引では最大**10**倍のレバレッジを効かせられるため、非常に資金効率のよいトレードが可能です。

これにより、少額の投資で大きなリターンを得られるチャンスが広がります。

また、下落相場でも利益を得られる「ショート（売り）ポジション」を取れるため、現物保有による損失リスクをヘッジする手段としても有効です。

ただし、レバレッジを利用すると資金効率が上がる一方で、損失リスクも同様に拡大するリスクが高まります。

したがって、リスク管理をしっかり行うことがCFD取引成功の鍵です。

h2:CFD取引の簡単な仕組み

CFD取引の概要が理解できても、いまいち具体的なイメージがつかない人も多いかもしれません。

そこでここからは、CFD取引の簡単な仕組みについて順を追ってみていきましょう。

<CFD取引の仕組み>

1. 投資対象を選ぶ
2. 「買い（ロング）」か「売り（ショート）」ポジションをとる
3. 価格変動を見る
4. ポジションを閉じて「決済」をする

h3:①投資対象を選ぶ

CFD取引を始める際、最初に行うのが「投資対象を選ぶ」ことです。

CFD取引では、株式、**FX**（外国為替）、コモディティ（原油、金、銀などの資源）、株価指数など、さまざまな金融商品に投資できます。

それぞれの投資対象には特徴があるので、自分の投資スタイルや市場動向に合わせて選ぶことが重要です。

<主な投資対象の特徴>

投資対象	特徴	向いている人	**FOREX.com** 提供
株式CFD	特定の企業の株価に投資する。企業の業績やニュースに基づいて変動する。	個別企業の情報に強い人	×
FX（外国為替CFD）	通貨の価値変動に投資する。為替レートの変動が中心。	世界経済や各国の政策に敏感な人	○
コモディティCFD	原油、金、銀などの資源に投資。世界経済や地政学的リスクの影響を受けやすい。	資源市場や国際情勢に興味がある人	×
株価指数CFD	Japan 225やUS SP 500などの株価指数に投資。個別企業ではなく、国や地域全体の市場動向に基づく。	幅広い市場の動きに投資したい人	○

投資対象を選ぶ際は、自分がよく理解している市場や商品に絞ることでリスクを管理しやすくなります。

情報収集や分析もしやすくなるので、成功する可能性を高めたいのならなるべく自分の興味のある分野または知識が豊富な分野に絞って選定しましょう。

なお、FOREX.comでは株価指数CFDとFXの両方を取り扱っています。
※内部リンクです※　FOREX.comの取引口座比較

h3:②「買い（ロング）」か「売り（ショート）」ポジションをとる

次に、相場の動きに応じて「買い（ロング）」または「売り（ショート）」のポジションを取る必要があります。

◆ロングポジション（買いポジション）
ロングポジションは、価格が上昇することを期待して取るポジションです。
例えば、ある企業の株式が現在100円で取引されており、今後、企業の業績が改善して株価が上がると予想したとしましょう。
この場合、100円で株式を「買い（ロング）」ます。
数日後、予想通り株価が120円まで上昇したときにその株式を売れば、20円の差額（120円 - 100円）が利益となります。

◆ショートポジション（売りポジション）
ショートポジションは、価格が下がると予想する場合に取るポジションです。
例えば、ある株式の価格が100円の時に売り（ショート）ポジションを取ったとしましょう。
予想通りに価格が80円に下落した場合、20円の利益が得られます。しかし、価格が120円に上昇した場合、20円の損失が発生します。
リスクは、価格が上がることによる損失であり、理論上、価格が無限に上昇する可能性があるため損失の上限はありません。

このように、CFD取引では上昇相場でも下降相場でも利益を狙えますが、それぞれのリスクも慎重に考慮しなければなりません。

h3:③価格変動を見る

CFD取引で利益を上げるためには、投資対象の価格がどのように変動しているかを常に把握しておく必要があります。

価格変動の確認方法にはさまざまなものがありますが、各種取引プラットフォームや各証券会社が提供するチャートを確認するのが一般的です。

例えば、全世界で6,000万人以上が利用している取引プラットフォーム「TradingView」では、15種類以上のチャート形式や400以上の組み込みインジケーターに加え、多種多様なカスタムインジケーターも利用可能です。

スマホ用のモバイルアプリもリリースされているので、CFD取引初心者から上級者まで、幅広くおすすめできるツールになります。

価格変動の要因は一概にはいえませんが、こういった取引ツールを自分用にカスタマイズしていき、予測に利用するのも一つのテクニックです。

FOREX.comでは取引口座とTradingViewとの連携を無料で行うことができ、TradingViewのチャート上から直接取引できます。

h3:④ポジションを閉じて「決済」をする

CFD取引では、利益を確定させるためにポジションを「決済」する必要があります。

この決済のタイミングが非常に重要で、利益を確定させるためには、相場が有利な状態でポジションを閉じなければなりません。

決済の方法は、買い（ロング）ポジションの場合は売却、売り（ショート）ポジションの場合は買い戻しを選択するだけです。

なお、利益確定や損失を最小限に抑えるためには、事前に「利食い（利益確定）」や「損切り（損失確定）」の目安を事前に設定しておくことがポイントです。

これにより、感情に左右されずに冷静な判断を保つことができます。

また、「ストップロス」や「テイクプロフィット」などの自動決済機能を活用することで、予想外の急激な価格変動にも対応可能です。

決済後は、取引が終了して利益や損失が確定します。結果は即座に口座に反映され、次の取引に進むことが可能です。

h3:50,000円を投資した場合のわかりやすい例

ここまで、CFD取引の基本的な仕組みをざっと見てきましたが、具体的なイメージをつかみたい方もいるかもしれません。

そこで、実際に50,000円をCFD取引で投資した場合の流れを、Japan225株価指数を例に追っていきましょう。

1.投資対象を選ぶ
今回は「Japan 225株価指数CFD」を選び、Japan 225の指数が上昇すると予想した場合を考えましょう。

現在のJapan 225の価格は30,000円とします。CFD取引では1ロット単位で取引が行われ、1ロットが1指数ポイントに相当します。

50,000円の資金を使い、レバレッジを活用して10ロット（30,000円×10）に相当するポジションを持ちます。10倍のレバレッジを利用すれば、500,000円相当のポジションを持つことが可能です。

なお当社FOREX.comのJapan225の最少取引単位は10ロットとなります。

2.「買い（ロング）」か「売り（ショート）」ポジションを取る
Japan 225が上がると予想したため、「買い（ロング）」ポジションを取ります。これにより、価格が上昇すれば利益を得ることができます。

3.価格変動を見る
取引を開始した後、Japan 225がポジティブな経済ニュースにより上昇し、30,000円から32,000円に値上がりしたとします。

この価格変動を取引プラットフォームで確認します。

4.ポジションを閉じて「決済」をする

Japan 225の価格が32,000円に達したため、ポジションを決済するタイミングを決めます。
「決済」ボタンを押し、10ロット分のポジションを売却することで利益が確定します。

この場合、50,000円で30,000円のJapan 225を買い、32,000円に上昇したため、

（**32,000**円 **- 30,000**円）**× 10**ロット **= 20,000**円

の利益が確定することになります。

このように、CFD取引では少額からでも効率的に大きなポジションを持ち、価格差を活用して利益を狙うことが可能です。

h2:CFD取引がおすすめされるようになった背景5つ

冒頭でも触れたように、現在CFD取引の人気は徐々に増しており、以前と比較するとおすすめしやすくなりました。

しかし、「人気だから**CFD**取引に挑戦してみる」というのはあまりに危険です。

堅実な投資戦略を立てるためにも、なぜCFD取引がおすすめされるようになったのかについて、しっかりと背景を把握しておく必要があります。

<CFD取引がおすすめされるようになった背景**>**

1. 金融市場でもグローバル化が進んだ
2. 日本は長い間低金利が続いている
3. CFD取引に関する法整備が整いつつある
4. スマホでも使える取引ツールが増えた
5. 世界の政治情勢が不安定になって市場の変動が大きくなった

以下で、それぞれについて詳しくみていきましょう。

h3:①金融市場でもグローバル化が進んだ

CFD取引が広く人気を集めた背景には、金融市場のグローバル化が進んだことが大きな影響を与えています。

かつて、個人投資家が投資できる範囲は自国市場に限られていましたが、現在ではインターネットの発展とともに、世界中の市場に簡単にアクセスできるようになりました。

例えば、日本に住んでいる投資家がCFD取引を通じ、米国の代表的な株価指数NYダウを原資産価格とする米国30をリアルタイムで取引ができる環境が整っています。

また、夜間に大きなニュースが報じられた場合でも、世界中の市場で取引できるためタイムゾーンを超えた取引が可能となっています。

このように、CFD取引はグローバル化によって、多様な投資機会を活用できることが人気の要因の一つです。

h3:②日本は長い間低金利が続いている

日本は1990年代初頭のバブル崩壊以来、長期にわたる経済の低迷とデフレに直面し、対応策として低金利政策を採用してきました。

1995年にはゼロ金利政策が導入され、その後も量的緩和やマイナス金利政策が続いています。

低金利環境が長期化すると、従来の低リスクな預金や債券では十分なリターンが得られなくなります。

その結果、投資家はより高い収益を求めて、株式市場やCFD取引のようなリターンの高い投資に資金を移す傾向が強まったのです。

また、CFD取引ではレバレッジを利用して少額の証拠金で大きなポジションを取れます。

加えて、低金利環境下では借入コストが低いため、レバレッジ取引がより魅力的に映ったのも一つの要因といえるでしょう。

h3:③CFD取引に関する法整備が整いつつある

CFD取引に関する法整備が整いつつあることも人気が上がっている理由の一つです。

以下は、CFD取引に関連する主な法整備の現状です。

金融商品取引法の適用	CFD取引は金融商品取引法に基づき規制され、リスク開示や投資家保護のための厳しいルールが課されています。
証拠金規制の導入	レバレッジ取引に対する証拠金の規制により、投資家が過剰なリスクを取らないよう制限されています。
顧客資産の分別管理の義務化	取引業者は、投資家の資産を自社の資産とは別に管理することが義務付けられ、資産保護が強化されています。

参考：令和6年 報道発表資料 | 金融庁

法整備が進むことで市場は健全な形で発展し、国内外の投資家がさらに参入しやすくなります。

規制が整うことで市場の信頼性が高まり、取引量や取引商品も拡大していくことが期待されます。

結果として、CFD取引のさらなる普及と市場の成長につながったのです。

h3:④スマホでも使える取引ツールが増えた

CFD取引の人気が高まった背景には、スマホで簡単に取引ができるモバイル取引ツールの普及も大きく影響しています。

近年、取引ツールはスマホやタブレット向けに最適化され、多くの業者が専用のアプリをリリースしている現状です。

例えば、全世界で6,000万人以上が利用しているトレーディングツール「TradingView」は、スマホでも使いやすく設計されています。

TradingViewは、高度なチャート分析機能を持ち、複数の指標を一画面で表示できるため、プロフェッショナルな分析が誰でも簡単にできてしまいます。

FOREX.comでは**TradingView**と連携した取引が可能で、同じFOREX.comスマホ版アプリ上でチャート分析と取引がスムーズに行えるため、特に**CFD**取引に適したツールとなっています。

このように、スマホでも使える取引ツールの普及により、CFD取引はますます身近で便利な投資手段となり、人気を集めたのです。

h3:⑤世界の政治情勢が不安定になって市場の変動が大きくなった

世界の政治情勢が不安定になると、金融市場も大きく揺れ動きます。

例えば、ロシア・ウクライナ戦争や米中関係の緊張、さらには中東の紛争などが原因で、エネルギー価格の急騰や株式市場の乱高下が発生することも珍しくありません。

こうした地政学的リスクは、短期間で市場を大きく変動させます。

しかしながら、**CFD**取引は市場の上下動に対応できるため、地政学的リスクの増大がむしろ追い風になっています。

つまり、エネルギー価格の急騰や為替相場の変動など、世界情勢に左右される傾向が強くなった現代市場において、CFD取引はリスクヘッジ手段になり得るのです。

このように、世界の政治情勢が不安定になり市場が大きく変動する中、CFD取引は市場の変動に柔軟に対応できる手段として、多くの投資家に注目されるようになりました。

h2:CFD取引でおすすめの投資銘柄

ここまで、CFD取引についての基本的な情報と人気の背景を解説してきました。
では、CFD取引におけるおすすめの銘柄にはどのようなものがあるのでしょうか？

ここからは、現在**FOREX.com**で取り扱っている外国為替（**FX**）と株価指数（インデックス）の中でおすすめの銘柄を厳選してご紹介します。

h3:外国為替（FX）

外国為替（**FX**）は、通貨ペアの価格変動を利用して利益を狙う投資手法です。

基本的な仕組みはCFD取引と同じで、通貨を直接保有することなく、為替レートの変動に基づいて差金決済を行います。

FXとCFDは非常によく似ていますが、FXは通貨ペアに焦点を当てるのに対し、CFDは幅広い資産クラスに対して差金決済を行うことが特徴です。

つまり、FXは「外国為替に特化したCFD」ともいえます。

その他のFXの主な特徴は以下の5点です。

1. 平日なら24時間取引でき、取引チャンスが豊富
2. 世界最大の市場であり、取引量が多く、流動性が高い
3. 各国の金利、経済指標、中央銀行の政策などが価格に大きな影響を与える
4. 政治的なニュースや国際的なイベントに迅速に反応し、短期間で大きく動くことがある
5. スプレッドが狭く、取引コストが低いため、短期トレードにも適している

なお、**FOREX.com**では、日本国内はもちろん世界中のアクティブなトレーダーから人気の**TradingView**と**MT4**を無料で利用できます。

どちらも人気の取引プラットフォームなので、FXトレードを始めようと考えている方はぜひ一度ご検討ください。

※CTA

h4:人気の通貨ペアと特徴

FXで人気の通貨ペアは以下の表の通りです。

通貨ペア	特徴
EUR/USD	世界で最も取引量が多く、流動性が高い。取引コストが低く、価格変動が安定しており、予測しやすい。
USD/JPY	流動性が高く、取引量が多い。米国と日本の金利差や経済状況に大きく影響され、初心者にも人気。
GBP/USD	ボラティリティが高く、短期トレードに適している。英国と米国の経済指標に敏感に反応。
AUD/USD	資源国通貨。コモディティ価格やオーストラリア経済の影響を受けやすい。
USD/CAD	米ドルとカナダドルのペアで、石油価格やカナダの経済状況に大きく影響される
NZD/USD	ニュージーランド経済や農産物・資源市場に影響。資源国通貨として、コモディティ市場に敏感。
EUR/GBP	ユーロ圏と英国の経済関係に基づいて動く。英国のEU離脱後、ボラティリティが高まり短期トレーダー向け。

このように、それぞれの通貨ペアによってかなり特徴が変わります。

初心者はまず、ユーロ/米ドル（**EUR/USD**）や米ドル/円（**USD/JPY**）のような取引量が多く、流動性が高い通貨ペアを選ぶのがおすすめです。

こうした通貨ペアは価格変動が安定しているため、急激な値動きによるリスクが低減します。
また、取引コストも重要なポイントであり、スプレッドが狭い通貨ペアを選ぶことで取引コストを抑えられます。

なお、**FOREX.com**では**80**種類以上の通貨ペアを常時取り扱っており、ほぼ全ての通貨市場に特化したトレードが可能です。

また、MetaTrader 4（MT4）やTradingViewなどの高度な取引ツールを使用して、リアルタイムで市場を分析できます。

h3:株価指数（インデックス）

株価指数（インデックス）**CFD**は、特定の市場全体の動きを捉える投資手法で、主要な指数（例：**Japan 225**、**US SP 500**など）を対象に取引を行います。

株価指数CFDの大きな特徴は、個別企業ではなく複数の企業を含む市場全体に対して投資できることです。
これにより、個別企業の業績に左右されにくく、市場全体の動向を追跡できます。

その他の株価指数CFDの特徴は以下の5点です。

1. 1つの企業の業績に依存するリスクが軽減される
2. レバレッジを活用することで効率的な資金運用が可能
3. 相場の下落局面でも利益を狙うことができ、柔軟な投資戦略が可能
4. ETFや現物株に比べて手数料が抑えられている場合が多い
5. ほぼ24時間取引が可能で時間の制約を受けない

h4:人気指数と特徴

株価指数の中で特に人気の高い指数は以下の通りです。

株価指数	特徴
US SP 500（米国）	米国の500社の大手企業で構成される指数。世界で最も注目される株価指数の一つ。
US Tech 100（米国）	テクノロジー関連企業が多く含まれる指数で、特にハイテク株の動向を反映。
Wall Street（米国）	米国の大手30社で構成される指数。米国経済の象徴的な存在として重要視されている。
Japan 225（日本）	日本の主要225銘柄を対象とする指数で、アジアを代表する株価指数の一つ。
UK 100（イギリス）	ロンドン証券取引所に上場する100社で構成される指数。欧州での影響力が大きい。
Germany 40（ドイツ）	ドイツの40大企業で構成される指数。欧州最大の経済圏を代表し、フランクフルト証券取引所で取引される。
EU Stocks 50（欧州）	ユーロ圏の50大企業で構成される指数。欧州経済の動向を示す。
France 40（フランス）	フランスの主要40社で構成される指数。フランス経済の指標とされる。
Hong Kong 50（香港）	香港証券取引所に上場する大手企業で構成され、アジアの重要な市場動向を示す。
China 50（中国）	上海証券取引所に上場する企業全体の動きを示す指数。中国本土の株式市場を代表。

株価指数の選定では、地域や経済状況、業種のバランス、過去のパフォーマンスが重要です。

まず、投資する地域や国の経済が成長しているか確認し、異なる地域の指数を組み合わせることでリスク分散を図りましょう。

過去のパフォーマンスやボラティリティも確認し、自身のリスク許容度に応じた指数を選ぶことが大切です。

なお、**FOREX.com**では厳選された世界の主要株価指数**17**銘柄を取り扱っています。

当社が提供している各種取引ツールを利用すれば、それぞれの株価指数のパフォーマンスをAIが自動分析してくれるので初心者でも安心です。

h2:CFD取引で失敗したくない！おすすめの投資方法5つ

「**CFD**は危険だからやめとけ」
「**CFD**は勝てない」

インターネットやSNSを調査してみると、CFD取引に対してこのような印象を抱いている人も少なくありません。

確かに、CFD取引はレバレッジが効く反面、損失も大きくなりやすいデメリットがあります。

しかしその一方で、CFD取引をリスクヘッジとして利用している投資家もいます。

つまり、**CFD**取引はしっかりとした戦略をもとにトレードすれば失敗する可能性を大幅に低減できるのです。

そこでここでは、CFD取引で成功するための投資方法を6つ厳選してご紹介します。

h3:①使いやすい証券会社を選ぶ

CFD取引で失敗しないためには、使いやすい証券会社を選ぶことが重要です。

初心者が証券会社を選ぶ際には、取引プラットフォームの操作性やサポート体制を重視しましょう。

特に、取引の画面が見やすく、操作がシンプルであることが大切です。

取引に必要な情報がわかりやすく表示され、複雑な操作を避けられるプラットフォームを選ぶことで余計なミスを防げます。

使いやすさの判断基準としては、デモ口座を利用して取引環境を試してみるのがおすすめです。これにより、実際の取引前に操作感を確認でき、自分に合っているかどうか判断できます。

また、サポートが充実している証券会社を選ぶことも大切です。電話やチャットでのサポートが迅速であると、困ったときにもすぐに対応してもらえます。

FOREX.comは、直感的に操作できる使いやすいプラットフォームを提供しており、世界中で広く利用されている**MetaTrader 4**（**MT4**）も利用可能です。

また、電話やチャットサポートも充実しており、困った際にはすぐに対応してもらえるため、安心して取引を始められます。

h3:②本で知識を深める

CFD取引で失敗しないためには、本で知識を深めることも重要です。

現在ではインターネットでもある程度の**CFD**に関する知識を学べますが、やはり体系的に整理された書籍の情報は非常に役立ちます。

書籍では、市場分析やリスク管理の重要性についても詳しく解説されていることが多く、取引を進める上での判断力を養うのに適しています。

また、信頼性の高い書籍は専門家やプロのトレーダーが執筆しているため、インターネット上の情報とは異なり、根拠のある知識を得られるのも大きなメリットです。

特に、経済の基本原則やテクニカル分析の理論に関する書籍は、長期的に活用できる知識となり、取引の基盤を固める助けとなります。

そのため、初めてCFDに関する本を購入する際は、短期的な話題にフォーカスしたものではなく、なるべく投資全般に通用するような基礎にフォーカスした本を選びましょう。

h3:③自動売買ツールを利用する

自動売買ツールを利用するのも、CFD取引で失敗しないために重要です。

自動売買ツールとは、あらかじめ設定したルールに基づいて自動的に取引を行ってくれるツールのことです。

これにより、感情に左右されることなく一貫したトレードを実現できます。

また、市場が開いている時間帯に常に監視し続ける必要がなく、仕事や生活で忙しい人でも効率的にトレードが可能です。

さらに、自動売買ツールはプログラムに基づいてトレードを行うため、計算されたリスク管理やポジションサイズの調整を自動的に行ってくれます。
そのため、人間の判断ミスを減らしながらリスクの少ないトレードが実現できます。

なお、**FOREX.com**では、**MetaTrader 4**（**MT4**）を利用することで、世界中のトレーダーが制作した**EA**（エキスパート・アドバイザー）と呼ばれる自動売買プログラムを簡単に導入できます。
EAを使えばCFD取引も自動で行うことができ、初心者でも安心して取引に取り組むことができます。

自動売買ツールを活用して、安定した取引を実現しましょう。

h3:④さまざまなチャートを読み取れるようになる

これはCFD取引に限った話ではありませんが、チャートを正確に読み取れるようにならなければ失敗する可能性が格段に上がります。

チャートは、今後の価格動向を予測するための最も重要なツールです。

特に**CFD**取引では、短期的な値動きを把握することが求められるため、以下に紹介する各種チャートはなるべく読み取れるようになっておきたいのが正直なところです。

ローソク足チャート	価格の「始値」「終値」「高値」「安値」を一目で確認でき、トレンドの強弱や反転のサインを読み取りやすい。
ラインチャート	終値を結んだシンプルなチャートで、長期的な価格の動向やトレンドを見るのに適している。
バーチャート	始値・終値・高値・安値を棒で示し、ローソク足よりもシンプルだが、詳細な価格動向を把握できる。
移動平均線（**MA**）	過去の価格の平均値を線で示し、トレンドの方向やサポート・レジスタンスを判断するのに役立つ。
ボリンジャーバンド	移動平均線を中心に上下にバンドを表示し、価格の変動範囲やボラティリティを分析する。
RSI（相対力指数）	価格の上昇・下落の強さを測り、買われ過ぎや売られ過ぎのタイミングを判断するオシレーター系の指標。
MACD（移動平均収束拡散法）	短期と長期の移動平均線を利用してトレンドの方向性や勢いを測り、売買シグナルを得るための指標。

チャートを読み取るスキルは一朝一夕には身につきませんが、練習と経験を積むことで次第に理解が深まります。

FOREX.comでは、**TradingView**と**MT4**という**2**つの取引ツールを無料で利用できるので、他のツールにはできないプロフェッショナルレベルのチャート分析を行うことが可能です。

h3:⑤スプレッド、約定力の比較をする

CFD取引で失敗しないためには、「スプレッド」と「約定力」の比較が非常に重要です。

スプレッドとは、売値と買値の差のことで、この差が狭いほど取引コストが低くなります。

スプレッドが広いと、利益を得るためには価格が大きく動く必要があるため、狭いスプレッドの証券会社を選ぶことが取引の成功に直結します。

一方、約定力とは、指定した価格で取引が成立する「取引成立のしやすさ」のことです。

特に、急激な価格変動が発生する相場では、注文が希望価格で約定しないリスクが高まります。

約定力が高い証券会社を選ぶことで、希望通りの価格で取引を行いやすくなり、予期しない損失を防げます。

スプレッドと約定力は各証券会社で異なるため、必ず事前に比較を行いましょう。

例えば、**FOREX.com**は安心の約定力が魅力の一つで、**99.73%**の取引が**1**秒以内に実行されているため、ほぼリアルタイムでの約定と言っても差し支えありません。
*最新のデータはこちらからご確認ください。
信頼のおけるスピーディな約定力
* 注文がトリガーしてから約定するまでの時間、MT4を除く成行注文と予約注文。
*当社が受注してから約定するまでの時間。

h2:【まとめ】レバレッジを効かせたい人にCFD取引はおすすめ！

本記事では、CFD取引の基本的な仕組みから、おすすめの投資商品、失敗しないための投資方法まで詳しく解説しました。

CFD取引は、少ない資金で多様な金融商品に投資できる魅力的な手法ですが、その分リスクも高く、適切な知識と戦略が必要です。

しかし、正しい情報と戦略を持って取り組むことで、CFD取引のリスクを最小限に抑えつつ、利益を最大化できます。

投資成功を目指して、ぜひ本記事で得た知識を活用してください。